

拝啓 すっかり春めきうつらかな季節となり、皆さんお元気にお過ごしのことと思います。

さて、このたびは課長職へ昇進おめでとう。奈津美さんもお母さんも、さぞお喜びでしょう。私も自分のことのように嬉しくなってきた、柄にもなく手紙を書いています。

世間的にいえば、異例のスピード出世ということになりますが、私から言わせれば遅いぐらいで、お宅の会社は人を見る目がないのかと憤慨していたほどです。ともあれ、これからは責任ある要職に就き、何かと苦勞が多いかとも思いますが、貴方は昔から人望があるので、管理職としてもすばらしい手腕を發揮するものと、大いに期待しています。

中間管理職はストレスがある立場ですから、どうか心身の健康には十分気をつけて、十二分に活躍してください。いつか阿部君も呼んで祝杯をあげましょう。また連絡します。

とりあえず昇進のお祝いだけ伝えます。

敬具